

平成29年 2月28日

報道関係者 各位

平成29年島原半島文化賞受賞者の決定について

標記の件について、下記のとおりお知らせします。

記

1、平成29年受賞者（個人1 団体1）

菅 清重（すが きよしげ）＜南島原市＞

南串山町史談会（古文書研究会）

（みなみくしやまちょうしだんかい（こもんじょけんきゅうかい）

＜雲仙市＞

2、授賞式

とき 3月11日（土） 午前10時

ところ 島原文化会館中ホール

（第35回島原半島文化賞授賞式及び第36回康平忌）

3、選考理由

別紙参照

4、その他

昭和58年から平成28年までに個人45件、団体22件が受賞

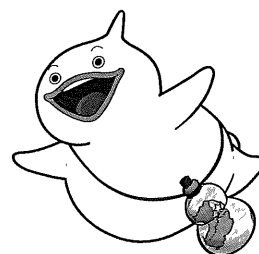
有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会 社会教育課 担当吉田

電話：0957-63-1111（内線652）

E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

平成29年島原半島文化賞受賞者

【選考理由要旨】

個人

○菅 清重（すが きよしげ）

南島原市在住

菅様は、平成9年4月から27年3月まで南有馬町文化協会の会長を務めた。その間、地域の文化発展に貢献し、平成3年5月から平成17年2月まで仙南書道展（8回）を開催し、その代表を務める。また、飛龍会の副会長を平成18年から現在まで勤めている。

平成18年に南島原市文化協会発足と同時に副会長に就任。平成25年元市文化協会会長井上荒衛門氏の死去に伴い、平成26年3月まで会長代行を務め、平成26年4月から28年3月まで南島原市文化協会の会長に全会一致で推薦されその職に就く。その間、コレジヨ版画展の委員を兼務し、行政の要請で各種委員を兼ね、その卓抜した観点で指導と助言にあたった。

市文化協会では8町文化協会2,300名の会員をまとめ、模範、率先して市民の指導にあたり、自主事業、芸能発表会、展示発表会などを挙行し、生き甲斐を求める市民に生涯学習の場を提供し、数々の遺作展を成功させ、会員の増強に寄与した。



平成28年島原半島文化賞受賞者

【選考理由】

団体

○南串山町史談会（古文書研究会）

南串山町史談会は、発足以来郷土の歴史に光をあて、普及する活動に尽力している。平成22年には史談会の中で古文書研究会を発足。南串山町内だけにとどまらず、島原半島に伝わる古文書や古い郷土史を解読し、キリシタン弾圧や島原の乱、小豆島からの移住など島原半島の歴史的な古い記録を平成26年に『古記録抜書帳』として出版。雲仙市内小中学校の総合学習教材に活用されるなど、若い世代への歴史継承にも貢献している。

また、ゆかりの深い小豆島での調査活動や、島民との交流活動など、古文書研究にとどまらず、地域間における次世代交流にも寄与するなど、その活動は半島全体の活性化に影響を与え、地域の文化の発展に尽くした功績は非常に大きい。

なお、現在も2冊の古文書の解読作業を実施しており、今後の活動にも大いに期待するところである。

